

## 2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年6月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マルマエ

コード番号 6264 URL <http://www.marumae.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 俊一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 古江 博 TEL 0996-68-1140

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年8月期第3四半期の業績 (2018年9月1日～2019年5月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	2,948	△11.9	357	△62.2	345	△63.1	225	△66.4
2018年8月期第3四半期	3,345	62.1	945	96.0	935	99.2	670	103.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	17.25	—
2018年8月期第3四半期	56.31	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	8,181	5,096	62.3
2018年8月期	8,088	5,132	63.5

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 5,096百万円 2018年8月期 5,132百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年8月期	—	10.00	—	—	—
2019年8月期 (予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年8月期の業績予想 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,170	△9.1	530	△57.1	510	△57.9	370	△57.3	28.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期3Q	13,053,000株	2018年8月期	13,053,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期3Q	130株	2018年8月期	97株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期3Q	13,052,898株	2018年8月期3Q	11,911,514株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると断定する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示について）

2019年8月期より、日付及び決算期の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動にリスクが残り、輸出や生産の弱さが続いているものの、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が継続しております。

当社の主な販売分野である半導体分野では、全体的には停滞感が漂うなかでも、ロジック※1向け設備投資には回復が続き、一部のメモリ※2メーカー向けに部品需要が再開するなど、回復傾向が出始めています。FPD分野では、中国における中小型有機パネル設備投資案件が動き始めており、当社への引き合いと受注は拡大し始めております。

このような経済状況のもと、半導体分野では、当社は次世代の量産品につながる試作品の受注に注力しつつ、前期取得した新事業所の整備や自動化設備の構築を行うとともに、新規に採用した社員の教育や試作能力の強化に注力いたしました。FPD分野では、大型電子ビーム溶接機※3(EBW)の設置を進め、受注活動を行っております。その他分野につきましては、当社の生産キャパの空きを活用し、太陽電池向けの量産品受注に向けた営業活動を行っておりますが、当初想定よりも受注に遅れが出ております。費用面では、前期に設備投資した出水事業所生産設備等に関連する減価償却費や労務費等により製造原価が増加いたしました。なお、足元では市場環境の停滞により工場の稼働率は落ち込んでおりますが、来期以降に予想される市場回復に向けて増加した生産力は維持する方針を持っております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高が2,948百万円(前年同期比11.9%減)、営業利益は357百万円(前年同期比62.2%減)、経常利益は345百万円(前年同期比63.1%減)、四半期純利益は225百万円(前年同期比66.4%減)となりました。

なお、当社は精密部品事業のみの単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

精密部品事業の販売分野別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

## (半導体分野)

半導体分野においては、受注高が2,223百万円(前年同期比17.7%減)、売上高は2,349百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

## (FPD分野)

FPD分野においては、受注高が410百万円(前年同期比53.3%減)、売上高は458百万円(前年同期比41.8%減)となりました。

## (その他分野)

その他分野においては、受注高が32百万円(前年同期比8.7%減)、売上高は64百万円(前年同期比152.4%増)となりました。

※1 ロジック半導体とは、演算や論理判断を行う半導体素子です。

※2 メモリ半導体とは、記憶を残す半導体素子です。

※3 電子ビーム溶接機とは、真空にした部屋の中でプログラム通りに安定した溶接を行う装置です。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

前事業年度末に比べ、92百万円増加し8,181百万円となりました。主な内容は、現金及び預金が579百万円、受取手形及び売掛金が315百万円、電子記録債権が198百万円減少し、たな卸資産が10百万円、有形固定資産が1,081百万円、無形固定資産が30百万円、その他流動資産が66百万円増加したこと等によるものであります。

## (負債)

前事業年度末に比べ、128百万円増加し3,084百万円となりました。主な内容は、長期借入金が380百万円、1年内返済予定の長期借入金70百万円増加し、未払法人税等が303百万円、その他流動負債が28百万円減少したこと等によるものであります。

## (純資産)

前事業年度末に比べ、35百万円減少し5,096百万円となりました。主な内容は、当期純利益225百万円の計上に対し、配当金261百万円の支払いにより利益剰余金が35百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の63.5%から62.3%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年3月29日開示の「業績予想の修正及び配当予想の修正(減配)に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に現時点で変更はありません。変更の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,612,487	2,033,053
受取手形及び売掛金	628,637	313,318
電子記録債権	607,519	408,967
商品及び製品	55,077	19,683
仕掛品	374,013	442,187
原材料及び貯蔵品	36,311	13,812
その他	33,435	100,404
貸倒引当金	△2,590	△1,534
流動資産合計	4,344,892	3,329,892
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,098,503	1,703,693
構築物(純額)	50,017	71,970
機械及び装置(純額)	1,679,464	1,930,208
車両運搬具(純額)	19,482	16,516
工具、器具及び備品(純額)	13,219	18,795
土地	718,112	766,549
建設仮勘定	49,974	202,854
有形固定資産合計	3,628,774	4,710,589
無形固定資産	40,796	70,916
投資その他の資産	73,907	69,835
固定資産合計	3,743,479	4,851,341
資産合計	8,088,371	8,181,234
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,400	130,234
1年内返済予定の長期借入金	309,512	379,512
受注損失引当金	6,400	23,300
未払法人税等	303,416	—
その他	196,403	168,294
流動負債合計	966,132	701,340
固定負債		
長期借入金	1,977,230	2,357,596
退職給付引当金	10,862	13,485
資産除去債務	1,674	1,067
その他	—	11,179
固定負債合計	1,989,766	2,383,328
負債合計	2,955,898	3,084,669

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,157	1,241,157
資本剰余金	1,938,342	1,938,342
利益剰余金	1,953,032	1,917,157
自己株式	△59	△92
株主資本合計	5,132,472	5,096,564
純資産合計	5,132,472	5,096,564
負債純資産合計	8,088,371	8,181,234

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
売上高	3,345,162	2,948,472
売上原価	2,004,977	2,144,091
売上総利益	1,340,184	804,381
販売費及び一般管理費	394,588	446,557
営業利益	945,596	357,824
営業外収益		
受取利息	113	68
受取配当金	50	—
受取家賃	740	495
受取手数料	—	600
その他	686	649
営業外収益合計	1,590	1,813
営業外費用		
支払利息	11,727	13,852
その他	0	434
営業外費用合計	11,727	14,287
経常利益	935,459	345,351
特別利益		
固定資産売却益	4,499	—
その他	500	—
特別利益合計	4,999	—
特別損失		
固定資産除却損	74	4,739
特別損失合計	74	4,739
税引前四半期純利益	940,385	340,611
法人税、住民税及び事業税	288,357	110,392
法人税等調整額	△18,757	5,036
法人税等合計	269,599	115,429
四半期純利益	670,786	225,182

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)及び当第3四半期累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

当社は、精密部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。